

東京都赤十字血液センターから井上 慎吾先生に來校していただき、「助け合う社会を支える一人になる」というテーマで講演していただきました。

(講演会の内容)

- ・日本赤十字社について
- ・血液の成分と役割
- ・輸血の使われ方
- ・がんの特性と治療方法、輸血との関連性
- ・献血の基準やしぐみ
- ・助け合う社会について
- ・献血ルームでのボランティア



(生徒が感じたこと、考えたこと)

- ・今日聞いた内容を家族や友人にも伝え、献血についてもっと関心を深められるようにしていきたいと思いました。「ありがとうの手紙」という動画で心が温かくなり、献血が人と人をつなぐということが実感できました。
- ・日本では2人に1人ががんの病気になっていて、輸血を必要としている人が多く、献血は大事なことだと感じました。
- ・献血に必要な時間は全部で60分だということを知りました。
- ・献血する人が10年前に比べると10代、20代で減少していて、若い世代の協力が必要だということが分かりました。
- ・今回の講演会を聞いて、人を支えたいと強く思いました。これからは献血に限らず、様々なボランティア、慈善活動に参加したいと思います。

講演会の最後に、本校の生徒会の生徒が夏季休業中に献血ルームでのボランティア活動に参加するので、その内容もまた発信する予定だとお伝えしました。今回の講演会で献血ルームのボランティア活動をやってみたいという生徒もいます。講演会の内容からさらに発展して、生徒が活躍できることを期待しています。

講師の井上先生にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。